

市議会だより

あくね

第3回定例会

第3回定例会総括……………2

一般質問……………6



NO.186

平成27年11月17日

編集 / 広報広聴委員会

発行 / 阿久根市議会

TEL 0996-72-0815

FAX 0996-72-2029



阿久根市議会

第3回定例会

- 一般会計予算に **1億7,529万円**を
追加し、**総額114億7,568万円**に
- 国のマイナンバー制度の施行に伴い、適正な取
り扱いを行なうための市条例の一部改正を可決

平成27年第3回阿久根市議会定例会が平成27年9月8日から25日の日程で開かれました。

開会初日には、監査委員、教育委員会委員、公平委員会委員、固定資産評価審査委員会委員の人事案件が提案され、いずれも同意。個人情報保護条例、手数料条例の一部改正（マイナンバー制度に関する改正）及び平成27年度一般会計補正予算が上程されました。

補正予算関係では、市民交流センター（仮称）の設計業務3800万円、市立図書館の設計業務1770万円を平成28年度で実施するための債務負担行為、保育所緊急施設整備事業として、「認定こども園あぐね園」の施設整備費に8814万円の補助金、7月の豪雨災害の復旧工事費3487万円、財政調整基金への積立金3594万円等の補正予算が提案されました。

この補正予算について、議員から市民交流センター等の設計業務を除外する修正案が提出され、修正案は賛成少数で否決され、原案について可決されました。

個人情報保護条例の一部改正は、来年の1月1日から始まる「番号法」通称マイナンバー制度の取扱いを適正に行い、通知カードや個人番号カードの再交付の際の手数料を定めるものです。

また、最終日の25日には、一般会計補正予算及び平成26年度の決算に伴う報告、認定議案が追加提案され、このうち平成26年度一般会計、国民健康保険会計など特別会計6件の決算認定議案は継続審査となり、9月29日から10月2日決算特別委員会で審査されました。

さらに、9月10日の竹原信一議員の一般質問において、不適切な発言があったとして、7名の議員から懲罰の動議が提出され、特別委員会を設置して審査した結果、戒告の懲罰が本会議でも賛成多数で可決され、議長が当該議員に戒告文を読み上げました。



保育所緊急施設整備事業で整備された「認定こども園 めぐみ園」

【人事案件】

監査委員の選任

富永 勉 氏（同意）

教育委員会委員の任命

中野 真理 氏（同意）

公平委員会委員の選任

坂上 真理子 氏（同意）

固定資産評価審査委員会委員の選任

税所 秀雄 氏（同意）

【特別委員会の設置】

懲罰特別委員会

（竹原信一議員の発言に関し懲罰の審査を行う特別委員会）

委員長 濱崎 國治議員

副委員長 濱之上 大成議員

委員 白石 純一議員

委員 濱田 洋一議員

委員 西田 数市議員

委員 飯屋園 一徳議員

委員 大田 重男議員

委員 岩崎 健二議員

市民交流センター等に関する調査特別委員会

委員長 濱崎 國治議員

副委員長 竹原 恵美議員

委員 議長を除く議員

委員会報告

○総務文教委員会

議案第55号、阿久根市個人情報保護条例の一部改正について制定について

・賛成多数で可決すべきものと決しました。

問 条例の文章はわかりにくく、国が決め自治体に強制するが、これは国の責任であり、根本は憲法の除外規定ということをおわかって対応しなければならぬことを、職員に教育してもらいたい。

答 法律は一般的にわかりにくいですが、今回の保護条例改正の趣旨は、個人の情報については条例で保護するという法律の規定により、阿久根市も条例で規定した。所管課 総務課

議案第57号、平成27年度阿久根市一般会計補正予算(第2号)

・委員から、市民交流センター等の債務負担行為を削除する修正案が出され、修正案は賛成少数で否決され、原案について賛成多数で可決しました。

問 中学校で原子力・エネルギー教育支援事業交付金により、エネルギー

ギーに関する教育をするということだが、原発はどうしても必要という内容になると思うが、学習内容について自由な裁量権があるのか。

答 川内原子力発電所に隣接する環境で、生徒に生活に必要なエネルギー、特に電気エネルギーについて発電方法等への興味、関心を高めさせ、エネルギーに関する観察、実験を通しての生活に必要な電気エネルギーの発電方法、エネルギー資源・開発に関する問題等について理解させることを目的にしている。所管課 学校教育課

その他の審議事項

・手数料条例の一部改正
・補正予算(庁内ネットワーク保守点検業務費、国勢調査の調査員等の報酬費、個人番号カード関連事務交付金、財政調整基金、債務負担行為)等

○所管調査

総務文教委員会では、所管調査項目である「市民交流センター事業について」9月14日、識見を有する者として、市内在住の川畑安則氏を参考人として意見を聞きました。

その後、定例会最終日に、議長を除く15名の議員から構成される「市民交流センター等に関する調査特別委員会」が設置され、今後は、市民

交流センター等に関しては、同特別委員会に移行し調査することになりました。

○産業厚生委員会

議案第47号 一般会計補正予算(第2号)について

・全委員の一致をもって可決すべきものと決しました。

問 消費者行政活性化事業の内容を教えてほしい。

答 一般の消費者が、様々な悪徳商法に惑わされないように啓発を行う事業である。主に消費生活相談員の研修会や啓発用のグッズを配布して消費者の不利益にならないような啓発を行っている事業である。

問 啓発用の消耗品とは具体的にどのようなものか。

答 文字入りトイレットペーパーやボールペンを考えている。

問 まもなく導入されるマイナンバーを語った悪徳商法が予想されるが、現予算での対応は考えていないのか。

答 マイナンバーについては具体的にはまだ考えていない。インターネット関連の相談が増えているので、そういった方面での啓発を考えている。

問 栽培漁業センター費について、

地域おこし協力隊一名は市外からの募集か。

答 薩摩川内市からきてもらう予定である。

問 任用期間は半年でなく、2年でも3年でもいいと思うが。

答 任用期間については、1年ごとの更新であり、今回は、来年の3月までで、次年度以降は1年更新の最長3年が限度となっている。専門的知識はあっても実際の業務は短期間では思うように進まないと思うので、担当課としては、長期間来てもらいたいと思っている。

問 地域おこし協力隊員は、欠員補充かそれとも技術的補填か。

答 栽培漁業センターは、土日も交代での勤務時期もあり、人手不足を補う面もあるが、地域の漁業者の方との交流等をし、業務の橋渡しの役割をしていただきたいと考えている。

その他の審議事項

・児童福祉総務費の保育所緊急整備事業について

阿久根市議会では、会議録(平成15年分から)に加え、委員会記録についても平成25年分から市ホームページに掲載していますので、ご覧ください。

討論

各議案に対する討論のあった主な内容は以下の通りです。

議案第51号 監査委員の選任について

反対 竹原 恵美 議員

元職員を監査役に充てる、元職員以外は検討していない、これは監査委員に対して必要な独立性の考え方が誤っている。一人しか候補に当たらないのをずっと選任させ、議会もこの方に会いもせず、選任していくのは誤りではないか。この選任の仕方には問題があり反対する。

反対 竹原 信一 議員

そもそも幹部職員と一般職員との区別は、立場が違ったからと言って客観的な視点から見れるものではない。市役所の体制の問題点を良く認識していたある退職者は、「幹部職員は外部から入れてください。」と言っていた。その問題点を乗り越えるのが、市長や副市長、監査委員である。外部から入れるべきだ。議会も責任がある。反対すべきだ。

結果 賛成多数で同意

議案第52号 教育委員会の委員の任命について

反対 竹原 信一 議員

選任は大事なことで、市長が選んで議会が賛成する。この形はもっとしつかり議論することによって選ばれた方も取り組みを具体的に考えることができる。今のようにはいっばなし、多数決状態では、本当にチェック機能を果たしているとは到底言えない。一たん否決してもう1回やり直しをすべきだ。市民は議会に対してチェック機能を求めている。私たちはそれに見合うだけの仕事をしているか。否決をお願いする。

結果 賛成多数で同意

議案第53号 公平委員会の委員の選任について

反対 竹原 信一 議員

合併協議会があつた頃、阿久根市から委員の呼びかけがあり、私は他の方と二人で手を挙げた。1週間程して市役所から電話で、いっばいになったので二人のうち一人はお断りする旨、連絡があり、私が入った。最初の日、隣に座った女性に「あなたも自分で手を挙げたんですか」と聞いた。聞いた。実は市役所から頼まれた。頼まれたことも言っていないと言われた」と正直に言われた。公募と言いながら、実は市役所の方で決めている。その時の女性が今回の方である。もともと不適切な人事であると私は思う。皆さんの反対を期待する。

結果 賛成多数で同意

議案第57号 平成27年度阿久根市一般会計補正予算（第2号）に対する修正案

内容 補正予算から、市民交流センター等の設計に関する債務負担行為を除外するもの

修正案に賛成 竹原 信一 議員

先日、旧建設省で迎賓館赤坂離宮改修工事の国家事業トップを務めるなどした川畑参考人を招致し話を伺った。以下、参考人の見解、『提示された予算の中で、まとめるのが建築の基本である。事業予算を大幅に増加させた原因は、市が適切に査定をしなかったこと、市側には設計者が提示したものを検討判断する技術者がいない。設計図を見ると阿久根市民の生活レベルや、文化レベルに全くふさわしくない。見てくれ優先で本来の機能をまったく無視している。建築家の自己満足にすぎず、公共施設としてふさわしくない』今回、阿久根市が発表した削減案はうそである。議会にうそを言い、ごまかしを重ねた議案を承認してはならない。本当に良く考えてもらいたい。

修正案に賛成 渡辺 久治 議員

例えば、2500万の予算で住宅の設計を請け負った業者が、3400万の住宅を設計してしまった場合、お客は納得するだろうか。市執

行部は今、同じ業者に事業費圧縮のために、追加予算を組んで再び設計を依頼しようとしている。これではあまりにも人が良すぎる。今現在、執行部は市長をはじめ、これまでの不手際を挽回すべく早急に決着しようとして努力していることは認めるが、『急いで事をし損じる』ということもある。もちろん交流センターは手掛けていかねばならないが、ここは一たん止めて白紙に戻し、これまでの経緯を総括した上で、しかるべき専門家を交えて、仕切り直しをすべきと考える。ここで議会がストツプをかけることが結局、阿久根市民の利益である。その後、市議会も市執行部と一丸となって、より良い交流センターの実現に向けて、精一杯協力しようではないか。賛同をお願いします。

結果 賛成少数で修正案は否決され、原案は可決されました。

（解説）

議案に対し、修正案が提出された場合、まず修正案に対して採決が行われ、修正案が否決された場合、元の原案について採決が行われます。

なお、修正案が可決された場合は、原案から修正部分を除く部分について採決が行われることになります。

平成27年第3回定例会 議案及び審議結果

番 号	内 容	結 果
議案第51号	監査委員の選任について	同意（多数）
議案第52号	教育委員会の委員の任命について	同意（多数）
議案第53号	公平委員会の委員の選任について	同意（多数）
議案第54号	固定資産評価審査委員会の委員の選任について	同意（全員）
議案第55号	阿久根市個人情報保護条例の一部を改正する条例の制定について	可決（全員）
議案第56号	阿久根市手数料条例の一部を改正する条例の制定について	可決（全員）
議案第57号	平成27年度阿久根市一般会計補正予算（第2号）	可決（多数）
議案第58号	平成26年度阿久根市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	可決（全員）
議案第59号	平成27年度阿久根市一般会計補正予算（第3号）	可決（全員）
	竹原信一議員に対する懲罰の件	戒告（多数）
認定1号	平成26年度阿久根市歳入歳出決算認定について（一般会計）	継続審査
認定2号	平成26年度阿久根市歳入歳出決算認定について（国民健康保険特別会計）	継続審査
認定3号	平成26年度阿久根市歳入歳出決算認定について（簡易水道特別会計）	継続審査
認定4号	平成26年度阿久根市歳入歳出決算認定について（交通災害共済特別会計）	継続審査
認定5号	平成26年度阿久根市歳入歳出決算認定について（介護保険特別会計）	継続審査
認定6号	平成26年度阿久根市歳入歳出決算認定について（後期高齢者医療特別会計）	継続審査
認定7号	平成26年度阿久根市水道事業会計の決算の認定について	継続審査

平成27年第3回定例会 議決結果（賛否が分かれた案件のみ）

議 案 名	議員名（議席番号順）																議決結果	討 論	
	白石 純一	渡辺 久治	濱田 洋一	西田 数市	竹原 信一	仮屋園 一徳	竹原 恵美	野畑 直	中面 幸人	大田 重男	濱崎 國治	牟田 学	濱之上 大成	山田 勝	岩崎 健二	木下 孝行			
監査委員の選任について	無記名投票 賛成11：反対 4																－	可決	反対： 2 賛成： －
教育委員会の委員の任命について	無記名投票 賛成14：反対 1																－	可決	反対： 1 賛成： －
公平委員会の委員の選任について	無記名投票 賛成13：反対 2																－	可決	反対： 1 賛成： －
竹原信一議員に対する懲罰の件	◇	◇	◇	◇	－	◇	－	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◆	◇	－	戒告	反対： － 賛成： －	
平成27年度阿久根市一般会計補正 予算（第2号） 修正案	◆	◇	◆	◆	◇	◆	◇	◆	◆	◆	◆	◇	◆	◇	◆	◆	否決	反対： － 賛成： 2	
平成27年度阿久根市一般会計補正 予算（第2号） 原案	◇	◆	◇	◇	◆	◇	◆	◇	◇	◇	◇	◆	◇	◆	◇	－	可決	反対： － 賛成： －	

※木下孝行議員は議長職のため特別多数議決以外の議案については、表決（賛成、反対の意思表示）権はありません。懲罰に関する件については本人及び親族である議員は議事に参与できず表決権はありません。
（表の見方）◇は賛成、◆は反対

より良い市政を目指して

一般質問

— 市政を問う —

平成27年第3回定例会では、10名の議員が一般質問を行いました。

【質問者】

(質問順)

- | | |
|---|----------|
| ① | 濱田 洋一 議員 |
| ② | 渡辺 久治 議員 |
| ③ | 大田 重男 議員 |
| ④ | 野畑 直 議員 |
| ⑤ | 牟田 学 議員 |
| ⑥ | 竹原 信一 議員 |
| ⑦ | 濱崎 國治 議員 |
| ⑧ | 竹原 恵美 議員 |
| ⑨ | 山田 勝 議員 |
| ⑩ | 白石 純一 議員 |

掲載内容については、それぞれの議員が行いました一般質問の主な項目についての質問と答弁の要旨であり、質問者が責任をもってまとめたものです。

問

農林水産業の振興策として
六次産業化への具体策は

答

付加価値のある商品開発から加工や
流通に至るまで支援していく

濱田 5年後の農家・漁家戸数の推計は、どのような見込みか。

市長 人口減少に伴ない農家・漁家戸数ともに、緩やかな減少である。しかし、地域農業の中核的な担い手となる認定農業者は、横ばいからわずかであるが、増加傾向である。

濱田 六次産業化を推進することにより地元の経済浮揚につなげ、製造に関わる雇用の増加や阿久根において、いいものを求めて市外の人が訪れ、交流人口の増加につながればと考えるが、どう思うか。

市長 六次産業化の推進を図り、今後の南九州西回り自動車道の整備に合わせ交流人口の増加が見込まれており、「食のまち阿久根」をPRする絶好の機会と考える。

自主防災組織と共助の基盤づくり事業について

濱田 自主防災組織の組織率と共助の基盤づくり事業の「支えあいマップづくり」は、どのような状況か。

市長 自主防災組織率は、市内自治区総数に対し80・5%「支えあいマッ

プづくり」は、全77集落中71集落で作成を終えている。

濱田 今後の取り組み・課題についてどう考えるか。

市長 自主防災組織の結成にあたっては、無理せず継続的に参加できる環境を整える。また、「支えあいマップづくり」における要支援者への支援策を協議する。課題として災害時における「孤立する恐れのある世帯」の台帳整備が必要である。

学校規模の今後の在り方について

濱田 子供と保護者のことを第一に考え、地域を含めさまざまな観点から議論を十分に行うべきと思うが。

市長 保護者・子供・地域の声を大切にする。学校は地域のコミュニティーの場でもあり、よく議論して行く。



濱田 洋一 議員

問

阿久根市の区未加入者数は？
加入促進の対策は？

答

現在、未加入者は1442世帯
2597人、住民意識の高揚が必要

渡辺 区への未加入者がだいぶ増えているようだが、どれぐらいいるのか。区に加入しないことで生ずる行政上の問題、また加入促進の現在の方針・方策は。

市長 未加入者数は26度末で、1442世帯、2597人となっている。行政上の問題として、市広報誌の配布、防災行政無線の聴取、地域行事や地域環境の整備活動など、地域コミュニティ活動に参加しにくい状況に置かれていることなどである。加入促進のために、転入、又は転居した場合、市民環境課の窓口で区への加入を勧めるチラシを配布するなどしている。

渡辺 区への未加入者が一割強いるということとは、ゆゆしき問題ではないか。『阿久根市に籍を置く住民は、区に加入しなければならぬ』ことを、市の条例等に盛り込むことは出来ないか。

市長 区は、地域で活動する任意団体という位置づけであり、加入・脱退は自由でなければならぬ。法律的にも強制するのは難しく、無理がある。

渡辺

そうであるならば、住民としての道徳心と責任感に訴え、現実的に『ゴミの収集に関すること』や『災害等の緊急時の連絡』など、市民生活を送る上で、大切であることを認識いただき、『阿久根市は原則として、区に加入してもらう方針である』ことを何らかの形で明記し、未加入の住民に働きかける方策はないか。

市長

私も考えとしては、同じである。何とか区に加入していただくために、住民全体の意識の高揚を図ることが大事である。この場で返答はできないが、気持は持っているということを理解いただきたい。

渡辺

何らかの方策を打ち出して、これ以上、未加入者が増えないように、努力をお願いしたい。



渡辺 久治 議員

問

農業振興について

答

新規就農者は、平成23年度から
27年度の5年間で30名である

大田

新規就農者の推移は。

市長

平成23年度5名、平成24年度11名、平成25年度8名、平成26年度4名、平成27年度2名の合計30名で、このうち、Uターンが2名、Iターンが4名である。

大田

新規就農者の支援事業終了後、独立し安定した収入が得られるような仕組みはできないか。

市長

就農前の研修段階及び経営の不安定な就農初期段階の青年就農者に対して、青年就農給付金を給付する支援事業を実施し、準備型2年、経営開始型5年の、合わせて7年間で、最高で年150万円の7年間に1050万円の支援を行い、また、農政課の農業専門指導員や北薩地域振興局の農政普及課、JA鹿児島いずみ等の巡回営農指導等により反収アップや品質向上・経営改善を図るための支援を実施している。

空き家対策について

大田

平成24年度に空き家実態調査を実施されたが、その後、具体的な方策ができているのか。

市長

平成26年11月、国において空き家等対策の推進に関する特別措置法が公布され、阿久根市においても、地域住民の生命、身体、財産の保護、また生活環境の保全を図り、空き家等の活用促進のため、空き家対策に関する協議会を本年5月立ち上げ、平成27年度中に条例を制定し、平成28年度からの施行に向け協議を行なっている。



居住者もなく
危険な状態の空き家



大田 重男 議員

問 グループタクシーの利用状況と 利用規定について

答 平成26年6月から導入したもので利用者の方々からは、非常に助かっているとの声をいただいている。

野畑 利用券は、原則3人以上のグループを作って利用することになっているが、1人では交付されないか。

市長 やむを得ない事情があれば、1人でも申請を受け付けており、交付できる。

野畑 自宅から一番近い駅やバス停まで、1キロメートル以上ないと交付されない。同じ市民でありながら居住地によって恩恵が受けられないことは不公平だと思うが。

市長 距離を短くするなど、更なる利便性の向上が図られるよう、今後見直しを検討する。

プレミアム付き商品券の販売について

野畑 阿久根市民以外にも販売されたと聞いたが、阿久根市を含めた近隣自治体の購入状況は。

市長 阿久根市が2163人で1億8961万円、出水市・長島町・鹿児島市・薩摩川内市・霧島市・さつま町の4市2町合わせて120人で1039万円である。

野畑 高齢者の方や、仕事のため商



野畑 直 議員

品券が欲しくても購入できなかった市民から多くの不満の声があったと聞く。今後どのように対処すべきと考えるか。

市長 販売は、商工会議所が実施主体であり、市はプレミアムの補助を行ったが、事前の打ち合わせ不足だった。今後は会議所との連携をさらに密にし、今回の事業を検証し、業務に活かしたい。

花火大会の実施時期について

野畑 これまで通り、夏に開催してもらいたいとの声を多く聞くが。

市長 アンケートでも、花火の時期は夏がいいとの回答が半数以上あった。来年度は、今年の反省を踏まえて、検討したい。

問 台風等の災害時に阿久根市は、 どのような危機管理を行っているか。

答 停電時市の施設は、発電機等リースで対応。県営住宅は、県に対し災害対策を強く要望していく。

牟田 九電など関係機関との連絡網は構築されているか。

市長 災害時は、各関係機関に対し、市民に迅速な情報提供を行うよう連絡体制を整えるよう強く要望したところである。

牟田 災害時に対応するため、各消防団にチェンソーを配備する考えはないか。

市長 災害時における消防団活動については、チェンソーを含め消防団の資機材等装備の充実を図っていき



各消防団への配備が望まれるチェンソー

ボクシング会場の整備について

牟田 2020年に開催される鹿児島国体において、阿久根市がボクシング競技会場に確定したが、国体に向けた準備室の設置は考えているか。

市長 国体準備委員会が、発足する

までには、準備室を設置していく。

牟田 選手強化のために、ボクシングの購入は考えないか。

市長 地元開催に当り、選手を育成し国体出場を目指す観点からも、リングの購入については理解する。ただし、常設の設置場所の検討やボクシング競技者を増やす必要がある。

市民交流センター設計変更について

牟田 市民交流センターの設計変更について、規模縮小に対する市長の基本的な考え方を伺いたい。

市長 全体的に縮小を行なう。施設の内容・形状の見直し、屋根の形状やホールの内容、席数、交流室の縮小など全体的に見直す必要がある。具体的にどのように見直すか、今後、設計者と協議していく。



牟田 学 議員

問

公約を守れなかったことを
市民に説明すべきであるが

答

これまで議会の様々な議論を通じて
ご説明申し上げてきた

格差について

竹原 市長は、職員給与を4年間で15%削減を目指すとしていたが、逆に上げたことを市民に説明すべきではないか。

市長 当初の数値より減額できたことは、私自身ある程度効果があったと考えている。健全な財政運営を目指す観点で公約としたものであるが、達成できなかったことは、議会の場を通じ「大変申し訳なく思っている」と答弁しているところである。

市営住宅について

竹原 入居希望者に対して、都市建設課は相手の様子を見て入居させたり、空きがあるのに「50人待ち」と断ったりするなど、不公正な仕事をしている。

放置住宅も多い。整備もたいへん悪く対応も遅い。改善を求めた件について副市長はどんな指導をしたか。
副市長 ちよつとあんまりだよねということで指導したが実施されておらず、再度指導した。



老朽化した市営住宅
(10月10日撮影)

交流センターについて

竹原 仕事の分からない人間はほんでもないことをする。交流センター事業に、阿久根市役所は運営や保全の計画さえ作れないというありさま。専門の部署を作る考えはないか。
市長 建築の職員もおり、それなりの能力があると考えている。



竹原 信一 議員

問

重大事故時の要援護者の避難道路の
整備対策は

答

一部路線は来年度にも整備したい



濱崎 國治 議員

濱崎 要援護者の円滑な避難のため避難道路の整備は急務である。中でも市道上松ヶ岡線・丸尾線等は幅員も狭く、急カーブや急坂で整備が必要である。整備の計画は。

市長 設計を行った部分もあり、年次的に整備を進めたい。用地確保を進め、上松ヶ岡線など一部の路線は、局部改良により幅員を確保する工事を来年度にも実施するようにしたい。

旧国民宿舎の民間移譲による活性化について

濱崎 移譲する事業者を募集したが、応募はあったのか。

市長 市内の事業者の1社から応募があった。
濱崎 現施設を解体し新築を求める

厳しい応募条件であるが。
市長 眺望や景観に優れており、意欲的な民間事業者を募集した。



今後の取扱いが検討されている
グランビューあくね

笠山への登りやすい登山道の整備について

濱崎 笠山は、小・中学校時代に登山した方や地域の方に親しみがあり、登山愛好者も多い。健康管理や観光振興にも活かせると思う。現登山道は、急勾配で若い方や体力のある方でないと難しい。ゆるやかな西側からの旧登山道の整備はできないか。
市長 旧登山道は山頂まで道路の形状がなく、ルートも分からない。民有地でもあり難しいが、整備が可能かどうか現地を調査し検討したい。

問

市民交流センターの建設は補助金額が見込みの半分となり、縮減・見直しになったが、認識が甘かったのではないかと？

答 人件費や資材の高騰など要因があったが、私自身、責任があると考えている

竹原 設計者選定の時は事業費25億円であったが、設計すると32・7億円、その後、総事業費は37・2億円となった。この責任をどのように考えているか。

市長 財源の見通しが甘かったと言われればそうかもしれない。財源を確保しながら行っていきたい。

竹原 今の建設検討委員会はチェック機能を果たさなかったのでは。

市長 機能を果たすと考えている。

竹原 専門家を置くこと及びを確定する前に市民への説明・意見聴取・意見の反映を行うことを要望する。

うみ・まち・にぎわい再生整備計画について

竹原 住民説明会を行い、市民の理解を得る必要があるのではないかと。

市長 通り会・漁業・商工会議所関係者をはじめ、いろいろな方々に委員になって頂き意見を反映した。

竹原 委員の夢を膨らませて計画し、これを市民全体の夢として実行している事は問題ではないか。

市長 代表的な、ある程度の意識ある方の意見を聞く事は必要だと思う。

阿久根駅指定管理者の公募について

竹原 1社の応募で決定しているが、公募期間が短く、ネットだけの公報できちんと選定できないのでは。

市長 短い期間で応募した会社の努力がありがたい。

原発災害時避難計画について

竹原 2年前に作成された原発災害時避難計画では、要員はあらかじめ指定しておく、要援護者の避難は市が誘導するところがあるが状況はどのようなか。

市長 要員の配置はしていない。医療8、介護19、老人2、障がい者2施設で避難計画は策定されていない。

竹原 この状態で再稼働すべきでなかったと思う。これから実態のある避難計画にしていくことを要望する。



竹原 恵美 議員

問

平成28年4月から空き家の固定資産税が6倍になるとの事だが

答 特定空き家等の認定を受けることで固定資産税の特例から除外される。



山田 勝 議員

山田 市内には過疎化のため空き家がふえている。平成26年11月に、空き家等対策の推進に関する特別措置法が公布され、法律の改正でその時になって所有者がびくつきしないよう周知徹底を図る必要があると思うがどうか。

市長 この法律は適切な管理が行われていない空き家等が地域住民の生活環境に及ぼす影響や空き家の有効活用を図るため、条例の制定と、議会の承認を経て市民の皆さんへ周知を図っていく。

番所丘公園の管理について

山田 番所丘公園の管理が悪く、管理されているとは思えない状態だが指定管理者にどのような指導をして

いるのか。

市長 番所公園の指定管理者は日本水泳振興会・グッドスタツフグループで平成24年4月から29年3月まで5年間の契約で、管理範囲として、施設や遊具の点検など12項目を指定している。今後も管理を徹底するよう指導を行っていく。



番所丘公園の状況
(9月1日撮影)

阿久根の創生と職員の取り組みについて

山田 阿久根市も戦後70年が過ぎ、市民と一緒に戦後70年史を作り、それを阿久根市の創生に生かす気持ちはないか。

市長 記念誌になるかわからないが前向きに取り組むたい。

問

あくね遺産活用、
旧3月10日をふるさと休日に

答 市民意識向上・観光のため検討したい



白石 純一 議員

白石 ポルトガル起源の阿久根砲や、とつぽどん逸話、海外貿易を担った河南家（中国河南省）や文旦（台湾台南市）ルーツ地との交流等古くから、世界と繋がっていた証である世界（的）遺産。ふるさと休日に提案する旧3月10日祭りとその舞台大島や、幕末く明治に活躍した寺島宗則卿の偉業、黒之瀬戸で詠まれた万葉集最南端2首、当地から八丈島に伝わった焼酎交流等の文化遺産。倉津港、田代鉾山、明治の焼酎蔵、旧鹿児島本線大川トンネル等の産業遺産。これらを「あくね遺産」と総称し市民の誇りとして子供たちに伝え、交流人口拡大に寄与できないか。

市長 県・市の文化財とは別に一定の基準を設け、市民意識の向上、観光への活用のための資源・手法として検討していきたい。

市有建物の耐震診断について



16世紀ポルトガル製の
阿久根砲

白石 旧耐震基準の市有施設で耐震診断がなされていない建物、特に子ども・高齢者等の施設は、市民の生命と安全を守るため、早急に診断補強・移動を実施頂きたい。

市長 市民会館、老人福祉センター、学童クラブとして使用の水産センター等は診断していない。学童クラブは新たな施設も探している。

その他の質問

クルーズ列車ななつ星の来年おれんじ鉄道乗入れて阿久根駅停車、同鉄道での映画RAILWAYの当市での撮影を、それぞれ誘致頂きたい。

竹原信一議員の懲罰の件について特別委員長報告

9月10日の市議会定例会の一般質問での竹原信一議員の発言が、知事・市長に対して不適切な内容で、地方自治法の規定に抵触し、阿久根市議会の信用を失墜させたとして、同議員に対する懲罰を求める動議が7名の議員から提出されたため、特別委員会を設置して審査を行った結果、戒告の懲罰とすることに決しました。

本特別委員会は、9月11・15日の両日、動議の提出者から説明を求め、まず、発言内容が懲罰に該当するかどうか審査に入りました。

委員からの主な意見として、
・一般質問の同議員の発言内容を市議会が認めたら、大きな問題である。

・議場での発言はいかなものか。議会人として政治倫理の問題もあり、懲罰に該当すると考える。
・発言内容を見ると疑義が生じる。不適切な発言が垣間見え、何らかの懲罰に該当すると考える。

・議場で根拠もないことを発言することは完全なルール違反であり、懲罰に該当すると思う。

以上のように、全委員が懲罰に該当するとの意見で一致しました。

次にどのような懲罰（懲罰の種類は、戒告・陳謝・出席停止・除名）に該当するかの意見として、

・議会としての懲罰に値するとの考えを示すということで、戒告が良い。
・気持ち的に陳謝であるが、今回は

1回目でもあり、戒告が良い。
・知事の金銭の問題、市長の私的立場などの発言は大変なことである。除名や出席停止も考えたが、今回は戒告が妥当と考える。

・言論の府たる議会で、合理性を伴わない単なる思い付きで他人を批判しているとしたら、あまりにも議会を侮辱している言葉であり、同議員は市長の経験もある。議会が毅然たる態度をとらなければ同様の発言を繰り返すのではと思うので、陳謝が相当と考える。
などの意見が出され、討議・討論に入り、今回の不適切な発言は1回目であることなどから、戒告との意見の委員が5名、また、陳謝が妥当とした意見として、発言内容が議会を侮辱したような内容であることから戒告も考えられるが陳謝が妥当であるとの委員が2名でありました。

採決の結果、懲罰特別委員会として戒告の懲罰とすることに決しました。

懲罰特別委員長 濱崎國治

○ 議会 の う ゝ き

9月										8月			
29日	25日	17日	16日	15日	14日	11日	10日	8日	3日	1日	29日	27日	21日
決算特別委員会 (10月2日まで)	議会運営委員会 市民交流センター等 に関する調査特別委員会	建設促進に係る要望活 動(福岡)	南九州西回り自動車道 議会運営委員会	懲罰特別委員会 懲罰特別委員会 懲罰特別委員会	懲罰特別委員会 懲罰特別委員会 懲罰特別委員会	懲罰特別委員会 懲罰特別委員会 懲罰特別委員会	懲罰特別委員会 懲罰特別委員会 懲罰特別委員会	懲罰特別委員会 懲罰特別委員会 懲罰特別委員会	懲罰特別委員会 懲罰特別委員会 懲罰特別委員会	懲罰特別委員会 懲罰特別委員会 懲罰特別委員会	懲罰特別委員会 懲罰特別委員会 懲罰特別委員会	懲罰特別委員会 懲罰特別委員会 懲罰特別委員会	懲罰特別委員会 懲罰特別委員会 懲罰特別委員会

議会広報研修会の開催

8月27日、鹿児島市において鹿児島県町村議会議長会主催による、議会広報研修会が開催され、当市議会広報委員から、濱崎國治委員長・渡辺久治委員・白石純一委員・濱田洋一委員の4名が参加して、広報誌編集についての基本的なことや、その応用方法について学びました。

また、他市町の議会広報誌を実際に見ながら、具体的な指摘事項を確認しながら改善策についての研修は今後の広報誌作成に大変役に立つものとなりました。

これからも市民の皆様に興味を持って読んでいただける誌面づくりを目指していきます。



議会広報研修会の様子

行政視察の受け入れ



富山県氷見市議会からの視察

10月26日富山県氷見市議会から当市議会へ、議会運営に関する行政視察がありました。

内容については議会運営の概要及び議会と当局との関わり、議会基本条例についてでした。

議会においては所管事務として委員会での調査を行っている案件についての参考とするため、他市の状況を調査したり、市内の状況を現地確認するため調査を行っています。

※ 議会だより、議会傍聴に関するお問い合わせは、市議会事務局まで。

TEL (七二二) 〇八一五
FAX (七二二) 二〇二九

編集後記

議員就任前に感じていたことは、多くの市民と同様、年4回の定例会以外に議員は何をしているのだろうかという疑問である。常任委員会の産業厚生、総務文教、議会運営、広報公聴の各委員会、北薩広域行政事務組合や阿久根地区消防組合の各議会に加え、現在、地方創生、旧阿久根高校跡地活用検討、市民交流センター等に関する調査特別委員会の3特別委員会が設置され、それぞれ閉会中にも開かれている。3件の特別委員会が同時進行することは珍しく、市にとって重要案件が目白押しということか。市の将来を左右する道標を議会が示していきたい。委員会についても傍聴が可能です。

(委員 白石 純一)

発行責任者

議長 木下 孝行
議会広報特別委員会

委員長 濱崎 國治
副委員長 渡辺 久治
委員 白石 純一
委員 濱田 洋一
委員 竹原 信一
委員 飯屋 園徳